

練馬区議会民主党・無所属クラブ

区政レポート



会派連絡先
発行 練馬区議会
民主党・無所属クラブ
練馬区豊玉北6-12-1
西庁舎6階
Tel 03-3993-1111
(内7621~5)

編集担当 白石けい子 経歴 民主党・無所属クラブ 会派 幹事長
練馬区貫井育ち、高松在住。昭和29年生。練馬二小・貫井中・都立第四商卒。保育士・社会福祉任用主事。NPO法人 ケアステーションぽかぽか設立者。現在、2期目。企画総務常任委員会、清掃リサイクル等特別委員会・議会運営委員会所属。家族 夫・子ども4人・孫2人 犬・猫 1匹



こんな時代だからこそ、区民との合意形成がより重要となる！

▼平成25年第一回定例議会・一般質問・予算委員会より▲

平成25年度一般会計予算案は2318億5050万円と、前年度比1・9%増となっているが、40億円のアベノミクスなる経済政策の導入からなるもので、区財政の状況は、平成20年のリーマンショック以降、区税収入は落ち込み、経常収支比率は、89・5%と、適正水準80%を大幅に超え、予断は許されない状況である。

また、高度経済成長期に建設した区立施設の老朽化への改修・改築費用は、10年間で2100億円との試算が示されたことから、今後の「選択と集中」への姿勢が重要になる。そこで、今後の姿勢を区長に訊いた？

▼建築基準法への法令順守の責任は▼

区立小中学校など多くの施設で建築基準法上の「完了検査」を受けていなかった問題、さらには仮設建築物が期限をすぎて違法状態で使用されていた問題は、許認可権限を持ち、企業・事業者らの法令順守の指導をする立場にある行政としてはあつてはならない。猛省を求め、原因究明と今後の体制の構築を訊いた。

▼地域ケア会議の充実
こそ、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活が送れる。その支援に向けた機能構築を▼

であるならば、区独自の指標を持たずして、事業者の育成・指導は危険。給付費の抑制に特化せず、丁寧な指導・育成を心掛けるよう区の姿勢を訊き、求めた。

①ケアマネジャーとの連携・育成から見えてくることで個別課題の解決機能が高まる。

②地域資源（企業・元気高齢者等）の活用・連携・ネットワークを構築することから、地域課題への解決や防災体制が迅速に行える。

③課題を行政が政策として形成できる。

▼介護保険給付費適正化事業の目的は、事業者指導・育成が目的の
はず？▼

保険者・練馬区が進めているこの事業の目的は、事業者の育成と同等の基準に適合をしているかの確認、介護給付費の適正化を図るためとなっている。：

■議会の可視化■

今議会より、本庁舎一階のアトリウムに設置している大型テレビに、本会議場の同時中継がされていることをご存知でしたか？ 試行的ではありますが、議会の可視化の一つとして始めました。多くの区民に関心を持っていただき、議会が区民の声の場として、これからも努力して参ります。



「ペット同行避難セミナー」報告

平成25年3月9日 地下多目的会議室にて

阿部獣医師・練馬区獣医師会・パネリスト参加者らとともに



盛況のうちに無事終了!

参加者150名。基調講演では、宮城県石巻市の阿部獣医師が、3月11日の東日本大震災二日目に、避難所に入り、動物たちの支援活動の様子。第二部では、災害時における「ペット同行避難」の対策について参加者と考え合った。

【基調講演から一部抜粋】

***避難所生活に明るさをもたらす。ペットの存在**

避難所では、元気がなく、まるで死んでしまったかのようにダンボールの上で寝ている方が多く見られた。一方、ペットと避難できる部屋では、人の顔が明るくて驚いた。ペットは「アイドル」として歓迎され、みんな可愛がることで、人は癒されていた。ペットの存在は、飼っていない人にとっても大きなメリットがあると感じた。

***避難所での暮らしに必要な。ペットの社会性**

避難所でペットが受け入れられるかは、「ペットの社会化」ができていかにかかっている。ペットの社会化とは、決まった場所で排泄をしたり、知らない

人が来ても吠えない、他の動物に吠えないなどの教育を行うこと。人間の子供と同じで、共同生活のために教育は必要だ。

***大災害に備えて、飼い主が準備しておきたいこと**

・クレートトレーニングの実施
クレートはケージとも呼ばれ、普段から決められた場所で生活する訓練をすることで、避難所などでも犬が安心して生活できる空間を確保できる。

・同行避難に役立つ物資は？

おむつやペットシートや猫砂は必要。避難所での衛生面としても心掛けてほしい。また、常備薬など持出し袋に入れておく。

・マイクロチップは重要

飼い主が生きていると思われ、に、再会できないことを避ける意味でもマイクロチップの導入を心掛けてほしい。

・ワクチンの接種は絶対

ワクチンを接種していなければ危険な存在になってしまう。特に狂犬病は、人間にも感染し発症すると致死率が100%。

・心理学的に効果があると言われているペットの力。だからこそ、日頃から準備を

「自己対象」として、愛情の対象となり悲しみから生きる力を与える動物の力・効果は大きい。



3.17 宮城県獣医師会 大江義之会長に、動物たちへの義援金12162円を届けてきました。

「ペット同行避難」講演会の報告書無料配布致します！

ご希望の方は、ご連絡をいただければ送付いたします。また、練馬区獣医師会・白石けい子ホームページにそれぞれ掲載しておりますのでご覧ください。

これからも「防災」をテーマに、様々な分野でのセミナーを開催して参ります。

※セミナー運営者一同写真II

(前列右から) 原田順獣医師・森理薫子獣医師・石巻市獣医師阿部俊範・上野和裕獣医師・白石けい子区議・(後方右から) 倉田れいか区議・あさの克彦都議・中谷ゆうじ都議・土屋ひとし区議・石黒たつお区議・浅沼敏幸区議・福村たかし第9区総支部長